学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	（学）国語基礎	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、文章を的確に読み取るための基礎的な内容について学習します。また、文章理解で必要となる文法や語句などについても学習します。
・授業で使う教材は、担当者が用意します。受講生の皆さんは、筆記用具を忘れず持ってきてください。
・一週間に一回だけの授業です。毎回の授業に出席し、授業内容をしっかり理解しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　より高度な文章を的確に読み取るための基礎的な内容を行う。併せて、文法、表記、語句、語彙等を理解し、身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
　学んだ基礎的な知識を活かし、様々な文章に触れ自分の考えを深める。筋道を立ててまとめ、相手や目的に応じた文章を書くことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
　基礎学力を拡充していく中で、国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする姿勢をはぐくむ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	類義語・対義語について学ぼう ［教材］ 自作教材	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中などで使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート
	漢語・外来語、オノマトペについて学ぼう ［教材］ 自作教材	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中などで使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート
	話し言葉と書き言葉について学ぼう ［教材］ 自作教材	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 b[話/聞]：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解を得られるように表現を工夫することができる。 c：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解を得られるように表現を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 発表の様子
	文法を学ぼう(1) ［教材］ 自作教材	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中などで使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート

後期	文法を学ぼう(2) ［教材］ 自作教材	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中などで使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート
	表記の仕方について学ぼう(1) ［教材］ 自作教材	a: 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し、使うことができる。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート
	表記の仕方について学ぼう(2) ［教材］ 自作教材	a:文章中の主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。また、引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 b[書]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 c:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート
	実用的な文章を読もう ［教材］ 自作教材	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　5　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　5　）時間